学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた

# 業のデザイン

新学習指導要領では、生きる力を育むことを目指し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、 これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学 習に取り組む態度を養うことが示されています。本紙は、改訂の趣旨を踏まえた授業の例などを示して います。各学校において、自校の年間指導計画や児童の実態等を踏まえ、確かな学力を身に付けさせる 授業をデザイン(構想)するための参考資料として御活用ください。

小学校 • 図画工作

# 図画工作科の目標及び学習指導要領改訂のポイント

#### 1 図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造 形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

# 2 学習指導要領改訂のポイント

# ◇〔共通事項〕の新設

育成する資質や能力を整理し、表現や鑑賞の過程で働く力を明確にするとともに、それらが関連して 働くように内容の改善を図る。また、領域や項目などを通して共通に働く資質や能力として示された〔共 通事項〕を活用して活動することができるようにする。

#### ◇表現

児童の発達に応じて、生活や社会とのかかわり、ものをつくる楽しさなどの観点から、手や体全体の 感覚を働かせて材料や用具などを活用してつくったり、身の回りの形や色、環境などから感じ取ったこ とを伝え合ったりする活動をする。

# ◇鑑賞

鑑賞においては、よさや美しさを鑑賞する喜びを味わうようにするとともに、自分の思いを語る、友 達と共に考える、感じたことを確かめるなどを通して、自分自身で意味を読み取り、よさや美しさなど を判断する活動の充実を図る。

#### 事例と関連のある本県の重点とする目標 - 「指導の指針」より 栃木県教育委員会

- ○指導内容の系統性・発展性を踏まえ、児童がつくり出す喜びを味わえる指導計画の工夫改善
- ○児童が自ら感性を働かせ、一人一人の思いを大切にする学習の充実
- ○〔共通事項〕を効果的に取り入れた学習の充実
- ○言語活動の充実
- ○指導と評価の一体化

#### 【参考文献】

- ・「小学校学習指導要領解説 図画工作編」 文部科学省 平成 20 年 8 月 ・「評価規準の作成,評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校 図画工作】」 国立教育政策研究所 平成 23 年 11 月
- ・「言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】」 文部科学省 平成23年10月
- 栃木県教育委員会 平成 25 年 3 月
- ・「新学習指導要領に基づく評価規準設定のための参考資料(小学校編)」栃木県教育委員会 平成 23 年 12 月
- ◇本リーフレットは栃木県総合教育センターホームページ(http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/)から、ダウンロードできます。
- ◇問い合わせ先 栃木県総合教育センター研究調査部 №028-665-7204

# キーワード 造形遊び 発想や構想の能力 鑑賞の能力 言語活動

形や色、イメージなどの〔共通事項〕の視点を生かした学習活動の展開を工夫することによって、形や色などに対する一人一人の気付きが深まるように言語活動を充実させ、本題材がねらう「発想や構想の能力」、「創造的な技能」、「鑑賞の能力」を高めます。

# 指導のねらい

ペットボトルキャップなどを用いて、好きな色を選んだり、いろいろな形をつくったりして表すとともに、形や色について感じたことを話したり、友人の話を聞いたりしながら作品を見ることを楽しむことができるようにする。

# <学習指導要領との関連>

# 【第1学年及び第2学年】

**A表現(2)イ** 好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと。

B鑑賞(1) イ 感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。

#### 題材の例

# 題材名 私の色や形 (第2学年)

本題材は、色や形などを手がかりに、ペットボトルキャップなどを使って自分の思いのままに表すとともに、自分が感じたことを話したり友人の話を聞いたりしながら作品を見ることを楽しむ活動です。

# 題材の展開(全2時間)

医竹び放開(土工町町)			
時間	主な学習活動	指導上の留意点	
1時間	1 「色の仲間」で分ける。	・色が混在しているペットボトルキャップ	
	・色の仲間で並べる。	を用意する。	
	・色分けをして気付いたことを話し合う。	・色の仲間で並べることで、色の多様さに	
	児童の多様な活動に対応する様々な手	気付かせる。	
		・思いのままに表現する子どもに寄り添い	
	立てを具体的に示します。	ながら、色や形に関する気付きや表現の	
		試みなどに共感的に言葉を交わす。	
1時間	2 「私の色や形」をつくる。	・色が混在している四角形や三角形の木片	
	・ペットボトルキャップの山の中から自分の	等を準備し、活動のひろがりをもたせる。	
	好きな色を集める。	・色が混在しているペットボトルキャップ	
	・色を選びながら、集める、重ねる、つなぐ、	などの山の中から自分が好きな色を集め	
	積む、並べるなどで私の色や形を表す。	させる。	
	「ことば」を書く際には「どのような」	・「私の色や形」の「どこ」を選ぶのかを	
	色や形からそう思ったのか尋ね、児童一	考えさせることで、色や形に関する気付き	
	人一人の気付きを深めるようにします。	を確かにする。	

# 評価に当たって

○本時や内容のまとまりごとの目標、評価の観点及び評価規準を設定し、題材によっては焦点化を図りながら、教師が見取る児童の能力を最も発揮している活動の場面を捉えて評価し、指導に生かします。

# 留意点及び工夫点

○低学年の児童にとって、楽しむことを通して形や色を捉えさせることが重要です。また、話したり聞いたりする活動により、形や色などについて新しい気付きが生まれます。本題材では、まず、形や色をつくりだすことを楽しみながら「発想や構想の能力」や「創造的な技能」が高まるようにしています。次に、〔共通事項〕を手がかりに自分の感じたことを話したり、友人の話を聞いたりする鑑賞活動を行うことで、児童の形や色などに対する気付きが深まるように題材を構成しています。

# キーワード 話合い活動 発想や構想の能力 鑑賞の能力 〔共通事項〕 言語活動

デジタルカメラや画用紙によるまとめなど、児童の話合いが活性化するような手立てを取り入れることによって、一人一人が感じたことを多様な方法で表現したり、話し合ってアイデアを発展させたりするなどの言語活動を充実させ、本題材がねらう「発想や構想の能力」や「鑑賞の能力」などを高めます。

# 指導のねらい

小枝の造形的な特徴や自然の材料、場所の様子などを基に、新しい形を 発想したり、みんなで話し合ってよさや面白さを考えたりしながら、造形 的な創造活動ができるようにする。

# <学習指導要領との関連> 【第3学年及び第4学年】

A表現(1) イ 新しい形をつくるとともに、その形から発想したり、みんなで話し合って考えたりしながらつくること。







# 授業の例

題材名 小枝 (第4学年)

本題材は、小枝の形や色などの特徴を基に、校庭に並べたり新たな材料を加えたりしながら造形的な創造活動を行うとともに、そこで生まれたよさや面白さを感じ取る活動です。

# 題材の展開(90分)

題例の展開(90分)				
時間	主な学習活動	指導上の留意点		
10 分	<ul><li>1 お気に入りの小枝を選ぶ。</li><li>・小枝(校庭清掃で集まった小枝)の中から自分の好きな形や色のものを選ぶ。</li></ul>	・児童が初めに出会う材料の種類や 量をやや少なめにし、材料からの 発想を深める。		
	育てたい力と材料や場所が関連し合って、必然的に、材料や場所の妥当な大きさや広さなどが決まってきます。	<ul><li>・児童のつぶやきや対話を手がかり に、児童がそれぞれ根拠をもって 小枝を選べるようにさせる。</li></ul>		
60 分	<ul><li>2 小枝や校庭で見付けた材料などを基に、グループで造形的な活動を行う。</li><li>・校庭のいろいろな場所から活動する場所を選ぶ。</li><li>・小枝に組み合わせるものを拾ったり、小枝を置いてみたりしながら、造形的な活動を行う。</li><li>・デジタルカメラ (グループ1台)で撮影しながら、形や色などについて話し合う。</li></ul>	・児童の身の回り(学校)の環境に 応じた材料(丸太や小石)を用意 する。 ・役割が固定しないように配慮し、 一人一人の感じ方が大切にされて 交流が行われるようにする。 ・感じたことや考えたことを事実と		
20 分	<ul><li>3 グループの活動について画用紙にまとめ、教室に掲示する。</li><li>・撮影した写真を画用紙に張り付け、その周りに解説を加える形式でまとめる。</li><li>・活動を見ていない人にも自分たちの感じたことや考えが伝わるように工夫する。</li></ul>	<ul><li>感想に分けて端的に表すように助言する。</li><li>・話し合いながら画用紙にまとめることで、自分たちの活動のよさや面白さに気付くことができるようにさせる。</li></ul>		

# 評価に当たって

- ○グループ1台のデジタルカメラの記録や話し合いながら画用紙にまとめる時のメモなど、効果的な評価 の方法を工夫し、児童の個々の思いや工夫を見取る力を身に付け、指導の改善に生かします。
- ○評価を行ってから、支援をするのではなく、引き出す支援(おおむね満足できる状況に達していないと 判断される児童への手立て等)を十分に準備し働きかけます。

# 留意点及び工夫点

- ○児童が感性を働かせ、試行錯誤する学習を充実させます。
- ○表現及び鑑賞において〔共通事項〕を効果的に取り入れ、色や形から豊かに発想する指導を工夫します。

# キーワード 互いの意見を伝え合う活動 主体的な鑑賞 言語活動

自分の意見について根拠をもって述べたり、友達の意見を基に見方や感じ方を発展させたりするような 手立ての工夫によって言語活動を充実させ、本題材がねらう「鑑賞の能力」を高めます。

# 指導のねらい

親しみのある美術作品の特徴について音を視点に捉え、感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりしながら、よさや美しさを感じ取れるようにする。

# <学習指導要領との関連>

# 【第5学年及び第6学年】 B鑑賞(1)イ

感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、表し方の変化、表現の意図や 特徴などを捉えること。

# 授業の例

題材名 音空間 (第6学年)

本題材では、親しみのある美術作品の特徴について音を視点に捉え、それを基に話し合うこと を通して、作品に対するイメージを膨らませ、よさや美しさなどを感じ取っていく活動です。



# 題材の展開(45分)

時間	主な学習活動	指導上の留意点
10分	1 親しみのある美術作品の中から音を見つけて	・ワークシートは、絵の周りに余白をつくり、
	記号で表す。	記号を描きやすい簡単な形式にする。
	・絵の中から聞こえてきた音を、自分なりの記	・場合によっては作家や美術館に許可を得る
	号でワークシートに表すとともに、感じたり	など著作権について配慮する。
	考えたりしたことを記入する。	・様々な見方や考え方が共有できるように、児
	記号の例 //// //// 11 〇-00	童の考えを教師がつないだり、補ったりし
	1//1/10	ながら発言を整理する。
30分	2 見つけた「音」を互いに発表し、様々な見方	・「どこからそう思ったのか」、「なぜそう
	や考え方を伝え合う。	思ったのか」など、根拠を確かめるようにさ
	・見つけ出した音や、絵から気付いたことなど	せる。
	を、ワークシートで確かめながらグループや	・おおむね満足できる状況に達していないと
	全体で話し合う。	判断される児童には、絵に描かれている具
	本時のねらいを達成するために、集団の場での	体的な「もの」や「こと」に着目して記入
	練り合いや話合いを効果的に設定します。	させる。
	旅り日4-11日4-20別末日11日以上しより。	・発表している児童だけを評価するのではな
5分	3 振り返りの活動を行う。	く、ワークシートの記号、言葉などで話し
	・自分の最初のイメージと変わったところや深	合っている様子をもとに、児童が、親しみ
	まったところなどを、ワークシートに記入す	のある美術作品のよさや美しさを、見付け
	る。	合っている姿を押さえる。

# 評価に当たって

○「形や動きなど具体的な視点から考える」、「根拠を明らかにしながら話し合う」、「鑑賞活動の喜びを味わう」などの活動を通して、児童の「鑑賞の能力」が高まったかどうかを評価し、指導に生かします。

#### 留意点及び工夫点

○児童は表現や鑑賞の場面で、自然に話したり聞いたり、話し合ったりするものです。そのことによって 発想を深めたり、つくりだす喜びを味わったりしています。このような本来児童がもっている鑑賞の能力を十分に高める学習活動を工夫することが重要です。そこで、教科目標にも示している鑑賞の活動を 通して、造形的な創造活動の基礎的な能力を培うように題材を構成しました。